

梓川中学校だより

発行者
梓川中学校
Tel 78-2024

1 学期校長講話 ～人権旬間によせて

7月7日（火）に校長講話が行われました。今回は、関校長が着任してから初めて全校生徒に向けた校長講話でした。6月が前期人権旬間だったことにあわせて、テーマは「心のものさし」でした。

現在ものの長さを測る時には、センチメートル、メートル、キロメートルという単位を使っています。これは世界で広く使われている共通の単位です。しかしかつての日本では「尺貫法（しゃっかんぽう）」という独自の測り方がありました。センチメートルなどが使われるようになった時は「分かりにくい」などの反発の声もあったようです。

【校長講話より】

「尺」と「センチメートル」、どちらが正しくて、どちらが間違っているのでしょうか。答えは「どちらも正しい」です。ただ、時代や文化、立場によって、使っている「ものさし（基準）」が違っていただけなのです。

私たちは日常生活の中で、この「尺とセンチの衝突」と同じようなことを、人間の関係性においてやってしまっているのではないでしょうか。

中学生の皆さんの周りには、今、たくさんの「ちがい」があふれています。

人間には、一人ひとりに固有の「心の『ものさし』」があります。自分が育ってきた環境、経験、大切にしている価値観によって作られた、自分だけの基準です。問題は、自分の「ものさし」だけが絶対に正しいと思い込み、他人の「ものさし」を否定したり、排除しようとしたりするときには起こります。特に現代は、SNSを通じて他人の生活や意見が簡単に目に入る時代です。画面の向こうの「いいね」の数や、グループ内の「同調圧力」によって、いつの間にか「みんなと同じでなければならない」という窮屈な『ものさし』に、自分も他人も縛り付けてしまうことがあります。

これこそが、いじめや差別、すなわち「人権侵害」の入り口です。人権とは、一言で言うならば、「自分と他人の『ちがい』を認め、どちらの尊厳も同じように大切にすること」です。

みなさんには「世の中には『尺』という測り方で生きている人もいるんだな」「あの人は自分とは違う『ものさし』で物事を見ているんだな」と、まずは気づき、受け入れる想像力を持ってほしいのです。

自分の「ものさし」で測れないものを、無理に自分の基準に当てはめてはいけません。相手の「ものさし」の目盛りをのぞき込み、「なるほど、君の基準ではそう見えるんだね」と理解しようとする姿勢。それこそが、人権を尊重することです。誰もが違う「ものさし」を持っているからこそ、この社会は多様で、面白く、豊かになります。全員が同じ「ものさし」しか持たない世界は、一見まとまっているように見えて、とても息苦しいものです。

皆さんには、この中学校という小さな社会の中で、たくさんの異なる「ものさし」に出会ってほしいと思います。そして、ぶつかり合うのではなく、お互いの基準を認め合いながら、自分の心の「ものさし」をより広く、より深くアップデートしていきましょう。

誰一人として、自分と違うという理由で傷つけられていい人はいません。誰一人として、自分の個性を否定されていい人はいません。

今日から、友達と会話をするとき、あるいはSNSで誰かの言葉を見るとき、一瞬だけ立ち止まって考えてみてください。「今、自分は自分の『ものさし』だけで相手を測っていないだろうか」と。全員が安心して、自分らしく生活できる学校を、ここにいる全員で一緒に作っていきましょう。

地域の方の協力を得て～総合的な学習の時間

今年度の本校の総合的な学習の時間では、「ワクワク・関わり・地域愛・自己の在り方」をキーワードとして、自分達が暮らす梓川地区でテーマを見つけ、探究活動を行っています。1学期の各学年の様子を紹介します。

1 学年 「梓川の課題」の探究

1学年はクラス別にテーマを設定し、「梓川の課題」について各自で探究内容を決め出し、調べ学習を行ってきました。7月には1組は公民館長の西牧さんから「梓川の街づくり」について、2組はJAあずみの西牧さんから「梓川の産業（りんご）」について、3組は梓川地域づくりセンター長の加藤さんから「梓川の自然や歴史」についてのお話を聞きました。

この学習を通して、地域の歴史や文化財、りんごの栽培の工夫や問題点、地域が抱える課題など、これまで知らなかったことに触れ、興味を高めることができました。さらに梓川地区でそして自分が暮らす地域で、その課題に向き合っている方達の存在、活動を知ること、自分も地域の一員としてできることに協力していきたいと考える生徒もいました。1学期の活動で考えたことをさらに発展させて、2学期も探究活動を行っていきます。

2 学年 これまでの探究活動のまとめ

1年生の1月から、東北信学習旅行の準備を始め、5月には小布施町でグループごとに課題探究活動を行いました。そして7月2日(木)の5・6時間目に小布施探究学習の発表会を行いました。この発表会には地域の方や保護者の方にもご来場いただきました。発表はポスターセッション形式で行われ、参加者との質疑応答などもありました。これまでこのような形での発表の経験はほとんどなかったので、資料の作成や相手意識をもった発表の構想など、探究活動以外にも貴重な体験を積むことができました。

1学期の小布施町での探究活動はこれで一区切りとなり、ここでの探究の方法などを生かして、さらに探究を続けていきます。

3 学年 梓川地区をもっと元気にプロジェクト

3学年は「梓川をもっと元気に」をテーマに、自分が関わりたいことをもとにしたチームを作り、活動に取り組んできました。まちづくり協議会の方から、中学生でもできる地域との関わり方などのお話を聞き、自分達の活動を決め出しています。昨年度から引き続き、花火やスポーツレクリエーションなどの企画・運営に携わることに加え、公民館や小学校に出かけて交流活動をしたり、梓川で生態調査をしたりなど、新しい活動のアイデアもたくさん出てきています。また今年度もまちづくり協議会の方々をはじめとする地域の方にも多く関わっていただいています。2学期からこれまで考えてきたことをより具体的に、地域での活動を行っていきます。

2学期以降、地域での探究活動をさらに深めていきます。これからも保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をいただくことが多くなると思います。よろしくお願いいたします。

【学校よりお知らせ】

8月10日(月)から16日(日)まで学校の電話がつながりません。この間に緊急に連絡する必要がある場合には、緊急連絡先の松本市役所(34-3000)へ連絡をお願いいたします。